

みまもって！ ナベヅル・マナヅル

ナベヅル、マナヅルは秋になると日本に渡って来る冬鳥です。かつては日本各地の水田地帯で越冬していましたが、乱獲や農地環境の変化により、現在は非常に限られた地域でしか安定して越冬していません。西日本の、これらのツルが定期的に飛来する地域では、国や自治体、市民が協力して越冬地の復元・保全活動を進めています。皆様のご協力をお願いします。

お願い [10月—3月]

300m以上離れる

飛来地での銃の使用にご配慮ください

とても警戒心が強いので、銃声に驚いて越冬をやめてしまいます。



ツルを見かけたらむやみに近づかないでください

もしも近くでツルと出会ったら…

そのまま通りすぎてください。ツルを見ようとして車の速度を落としたり、立ち止まったりしないでください。犬に対して非常に警戒するので、飼い犬を放さないようにしてください。



ねぐらにしている水辺に立入る際はご配慮ください（夜間）

日の入約1時間前～日の出約1時間後は、河川の中州や河口干潟、ため池等の浅瀬をねぐらとして利用しています。立入ったり、車のヘッドライトを水辺へ向けたりしないようにご協力をお願いします。

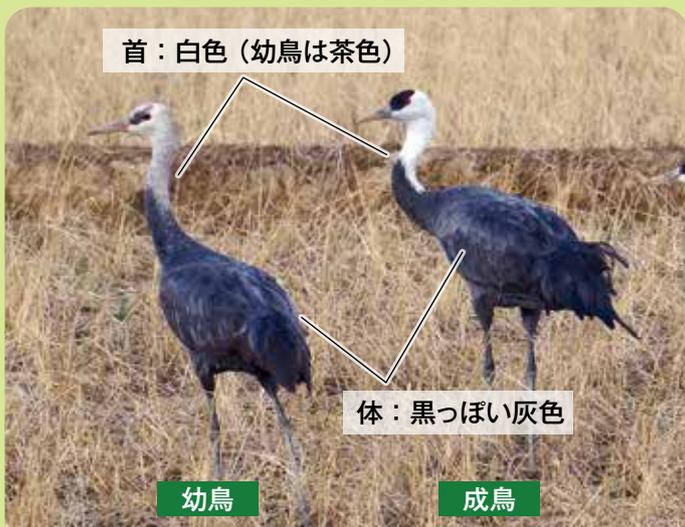


情報の公開には注意を

多くの人が集まるとツルに影響があるので、ツルの詳細な生息場所の報道やインターネットへの掲載はご遠慮ください。



ナベヅル



- 全長：約 100 cm
- 世界の推定個体数：約 14,000～16,000 羽
- 越冬期間：10月～3月

- 繁殖地：ロシア・中国・モンゴル
- 越冬地：日本・韓国・中国
- レッドリストカテゴリー：IUCN（国際自然保護連合）VU / 環境省 絶滅危惧Ⅱ類
- 越冬地での主な食物：落ち穂、昆虫、小型の水生物
- 生態：主に稲刈り後の水田に渡来。家族（2～4羽）ごと、もしくは小規模な群れで行動。夜は浅い水辺で立って寝る。

マナヅル



- 全長：約 127 cm
- 世界の推定個体数：約 6,000～7,000 羽
- 越冬期間：11月～2月

ナベヅル、マナヅルがよく見られる地域

※これらの地域以外にもツル類が飛来する場合があります。



★注意★

ツルと間違いやすい鳥
アオサギ



写真：掛下尚一郎

全長：93cm
各地の水辺や田んぼで見られ、首や足が長くツルに似ているが、ひとまわり小さい。ツルと違い、飛ぶときに首を縮める。

いずみ
鹿児島県出水地方での保護活動により、現在個体数は増加していますが、世界のナベヅルの約 8～9 割、マナヅルの約 5 割が出水に集中しているため、重篤な感染症が発生した場合に、種が絶滅してしまう恐れがあります。そのため、越冬環境を復元させ、かつてのようにツルが各地で暮らせるようにする必要があります。